

## 会議録（概要）

会議の名称	令和7年度 第2回佐渡市公の施設指定管理者選定委員会（教育部会）
開催日時	令和7年10月22日（水） 10時00分開会 11時10分閉会
場所	佐渡市役所 本庁2階 大会議室
議題	(1) 募集の経過説明と第1次審査（資格審査）の結果報告について (2) 第2次審査 ①審査及び採点方法についての説明 ②応募者によるプレゼンテーション及び質疑応答、個別審査表項目による審査 ・勤労青少年ホーム、両津運動広場、両津野球場、両津テニスコート、両津農村広場 ③個別審査の全体審議、意見調整
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	委員長 羽藤政吉 副委員長 庄山忠彦 委員 萩田絢也 武井里子 角康弘 梶田富士雄 長澤栄吉 応募者1団体 事務局 文化スポーツ課 課長補佐 高橋敏直 スポーツ振興係主任 計良典孝 財産管理課 課長補佐 長尾啓介
傍聴人の数	0人

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
長尾課長補佐	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 募集の経過説明と第1次審査（資格審査）の結果報告について 8月8日から9月19日まで募集したところ「勤労青少年ホーム、両津運動広場、両津野球場、両津テニスコート、両津農村広場」に1団体からの応募がありました。 提出書類を第1次審査として審査した結果、各審査項目に適合していましたことを報告します。 「両津総合体育館」と「佐渡スポーツハウス・佐渡市陸上競技場」については応募がありませんでした。</p> <p>(2) 第2次審査</p> <p>① 審査及び採点方法についての説明 (事務局から採点方法について説明)</p> <p>② 応募者によるプレゼンテーション及び質疑応答、個別審査表項目による審査</p> <p>対象施設 勤労青少年ホーム、両津運動広場、両津野球場、両津テニスコート、両津農村広場</p> <p>応募者A（以下、応募者。）</p>
応募者	<p>（応募者から説明）</p> <p>質疑</p>
長澤委員	<p>貴団体に置かれましては、地域社会への貢献に頑張られているということに対して敬意を表したいと思います。9年間の指定管理をやられているので、団体の概要に指定管理業務をご記入いただければ幸いです。</p> <p>前回の選定の際にもお話申し上げたのですが、賃金で会員の方を雇われて皆様で運営されていますが、賃金でお支払いしているということであったので、雇用保険は高齢なので対象にならないですが、労災保険はアルバイトでもパートでも1時間でも加入して事業主さんが負担するということになるので、市の担当と話をして加入をしていただかない事故があったとき困りますのでご確認ください。</p>
応募者	傷害保険には入っています。

長澤委員	傷害保険は任意の加入ですが、労災保険というのは賃金でお支払いする方がいれば加入義務があると思います。
応募者	会員が役員扱いで、人数分の傷害保険に入っている状況について以前に監督署に行って相談した際には指摘を受けませんでしたので確認が必要です。
長澤委員	スポット的なイベントでボランティアの方であれば任意の傷害保険で良いのですが、通年で仕事があって賃金で支払っているのであれば、最低加入が必要だと思います。
応募者	佐渡市の指導を受けて確認してまいります。
萩田委員	昨年の誘客実績が 1,250 名ということですが、誘客の方法をもう一度教えてください。また、会員の実際に活動されている方の年代はどのようになっていますか。
応募者	誘客の方法ですが、メンバーが催し物を立ち上げまして、毎週木曜日定期的に行っております。 また、あるメンバーは里山の会に加入したり、自然開発関係の団体に加入して、その団体の幹部になって、集まりがあるたびに青少年ホームを利用もらっています。 メンバーが他の団体に所属したなかで、その会の活動場所として勤労青少年ホームを選んでもらっています。 会員の年代ですが、一番若いのが 66 歳で上は 80 歳超え、全体で 11 名です。みんな元気です。家でじっとしているのでは良くないですが、半日でも 1 時間でも作業があるということが張り合いになっています。 付け加えると、会社を定年すると趣味を持っていない方は家にいます。定年してもそれぞれのポジションで色々な力を発揮していた方を会員として迎えて活動してもらっています。家にいるのと違つて年に何回か集まってコミュニケーションを図ることで地域が明るくなり、そのような地域づくりに役立っています。
萩田委員	地元の方が立派な活動をしていると思いました。
応募者	分野の違う者が集まっているのが良かったと思います。指定管理は地域の活性化のためどんどん地域におろすべきだと思っていま

	す。地域のことは地域が一番よくわかっています。指定管理は地域にとっては良いものです。
萩田委員	逆に課題はありますか。
応募者	あと何年動けるかということが一つの課題です。 また、この施設には昭和の時代の機器しかないので、5年に一度は食堂のような施設は設備を整えてほしいと思っています。
庄山副委員長	河崎小学校の卒業生が卒業生を集めて青少年ホームを会場にして食事を作り、ホールで遊んでとても良かったと聞いています。良い施設なのでもっと広く周知して欲しいと思います。
応募者	県内の合宿は来ています。その先生は全国的な先生のネットワークの中で青少年ホームのことを知ったが、シャワーが無いとかの課題も言われました。
高橋課長補佐	新潟県のホームページで県内の体育施設一覧という形で掲載がありますが、市として独自には周知しておりませんので検討します。
羽藤委員長	11名のメンバーということですが、今後、減少する可能性もあると思いますが、今後の展望はありますか。
応募者	11名くらいが適度な人員数で余り多くても連絡が回りきらないと思っています。朝から草刈りやるよ。と声掛けするとすぐに集まる人数です。この先は考えなければなりません。もうすぐ定年になるものもありますので勧誘していきたいと考えています。
	質疑終了
	③個別審査の全体審議、意見調整
	各委員の審査表を集計した結果、平均点73点となり合格基準点の60点を超えていましたので選定委員会としては勤労青少年ホーム、両津運動広場、両津野球場、両津テニスコート、両津農村広場の指定管理者の候補者を住吉みどりの会とすることに決定しました。
	会議終了